

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平7-10527

(43) 公開日 平成7年(1995)2月14日

(51) Int.Cl.⁸

F 1 6 B 13/14

識別記号

弁内整理番号

A

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 2 頁)

(21) 出願番号 実願平5-39842

(22) 出願日 平成5年(1993)7月21日

(71) 出願人 000124096

加藤発条株式会社

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地

(72) 考案者 有坂 洋

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地

加藤発条株式会社内

(74) 代理人 弁理士 笹井 浩毅

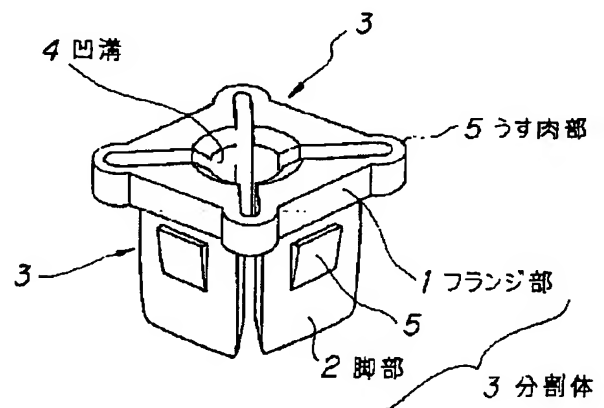
(54) 【考案の名称】 スクリューグロメット

(57) 【要約】

【目的】 タッピングネジ 1 1 をねじ込むことにより拡張して部材 1 0 に取り付け、タッピングネジ 1 1 の締め付け力により部材 1 0 に他の部材 1 2 を固定するためのスクリューグロメットにおいて、極めて円滑かつ大きく拡張することができて、被取付け部材の嵌合孔の寸法誤差を吸収できるとともに、複数種の穴径に対応可能とする。

【構成】 フランジ部 1 と脚部 2 とからなる四つの分割体 3 を環状に配設し、これら分割体 3 の内面にタッピングネジ 1 1 の挿入孔を画成する凹溝 4 をそれぞれ形成するとともに、分割体 3 が挿入孔の軸線を中心とする放射方向にそれぞれ相対移動自在となるよう、隣接する分割体 3 同士を各フランジ部 1 の両端縁において薄肉部 5 を介して連結してなる構成とする。

図 1



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 タッピングネジをねじ込むことにより拡張して部材に取り付き、前記タッピングネジの締め付け力により前記部材に他の部材を固定するためのスクリューグロメットであって、

フランジ部と脚部とからなる四つの分割体を環状に配設し、これら分割体の内面に前記タッピングネジの挿入孔を画成する凹溝をそれぞれ形成するとともに、前記分割体が前記挿入孔の軸線を中心とする放射方向にそれぞれ相対移動自在となるよう、隣接する前記分割体同士を各フランジ部の両端縁において薄肉部を介して連結してなることを特徴とするスクリューグロメット。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の一実施例であるスクリューグロメットを示す斜視図である。

【図2】 本考案の一実施例であるスクリューグロメット

2

によるパネルの固定状態を示す横断面図であって、図4におけるX-X断面視図に相当する図である。

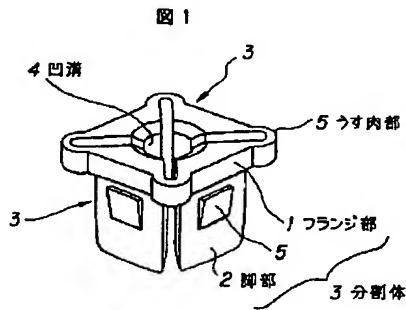
【図3】 本考案の一実施例であるスクリューグロメットによるパネルの固定状態を示す横断面図であって、図4におけるX-X断面視図である。

【図4】 本考案の一実施例であるスクリューグロメットによるパネルの固定状態を示す側断面図である。

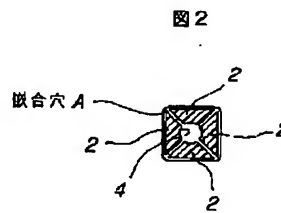
【符号の説明】

- 1…フランジ部
- 2…脚部
- 3…分割体
- 4…凹溝
- 5…薄肉部
- 10…被取付部材（パネル）
- 11…タッピングネジ
- 12…取付部材（パネル）

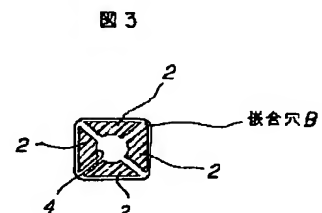
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

図4

